

# 文-35 まえに

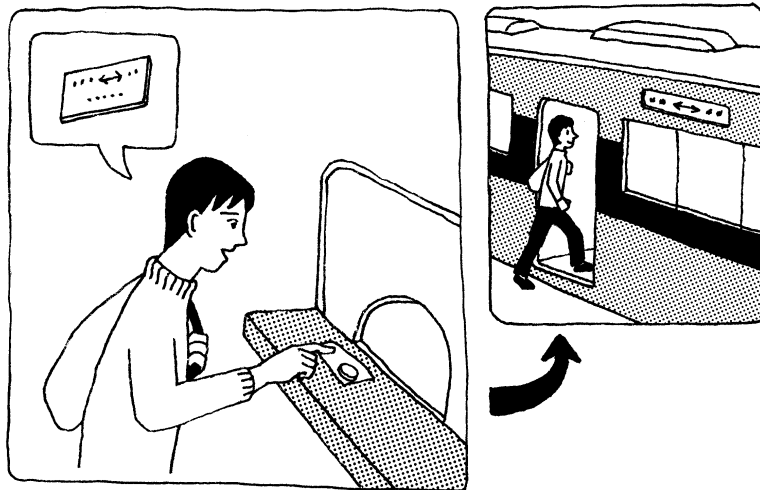
N1が	V1(辞書形)	まえに	N2	は/が	V2ます
N3	の				

N3: 動作と結びつく名詞やできごとを表す名詞

## 基本

### 例文

- ① <sup>たなか</sup>田中さんは<sup>まいにちね</sup>毎日寝る<sup>にっき</sup>まえに、<sup>か</sup>日記を書きます。
- ② <sup>せんせい</sup>先生の<sup>へや</sup>部屋に<sup>はい</sup>入る<sup>がくせい</sup>まえに、<sup>がくせい</sup>学生は<sup>がくせい</sup>ノックをします。
- ③ <sup>でんしゃ</sup>電車に<sup>の</sup>乗る<sup>おとこ</sup>まえに、<sup>ひと</sup>男の人は<sup>きっぷ</sup>切符を<sup>か</sup>買いました。



例文③

- ④ わたしは<sup>い</sup>プールへ<sup>ひる</sup>行く<sup>た</sup>まえに、<sup>た</sup>昼ごはんを<sup>た</sup>食べました。
- ⑤ わたしは<sup>あめ</sup>雨が<sup>ふ</sup>降る<sup>かえ</sup>まえに、<sup>かえ</sup>うちへ<sup>かえ</sup>帰りました。
- ⑥ <sup>やまもと</sup>山本さんが<sup>りゅうがく</sup>アメリカへ<sup>なかやま</sup>留学する<sup>りゅうがく</sup>まえに、<sup>なかやま</sup>中山さんは<sup>りゅうがく</sup>ドイツへ<sup>りゅうがく</sup>留学しました。
- ⑦ <sup>りょこう</sup>旅行の<sup>か</sup>まえに、<sup>か</sup>スーツケースを<sup>か</sup>買いました。
- ⑧ <sup>あさ</sup>いつも朝<sup>あさ</sup>ごはんの<sup>あさ</sup>まえに、<sup>あさ</sup>ジョギングを<sup>あさ</sup>します。
- ⑨ <sup>じゅぎょう</sup>授業の<sup>しゅくだい</sup>まえに、<sup>だ</sup>宿題を<sup>だ</sup>出しました。

# 解説

- A. 「まえに」は、V1、N3あらわで表されることよりV2あらわで表されることの方が先ほう さきであることを示す。(例文①～⑨)
- B. 「まえに」節の主語N1せつ しゅごは、「が」をとる。(例文⑤⑥)
- C. V2の時制じせいに関係なく、V1は辞書形じしょけい。
- D. 「N2」は文頭ぶんとうに来ることができる。(例文①④⑤)

N2	は	N1が V1(辞書形)	まえに	V2ます
		N3 の		

## 先生へ

「まえに」節の主語は、「の」をとることもある。

例 雨あめののふるまえにうちに着つきました。

N3にあたる日本語能力試験4級相当の名詞は以下の通り。

朝あさごはん、昼ひるごはん、晩ばんごはん、スポーツ名、買めいい物、勉べん強、旅りょ行、散さん歩、練れん習、電でん話、料りょう理、洗せん濯、掃そう除、仕し事、授じゅ業、パぱーティー、試し験、試し合、誕たん生日

「Vないまえに」は使えない。「Vないうちに」となる。

N1とN2が同じ場合は、「N1が」は省略しょうりゃくされる。また、N1、N2が何なんであるかわかっている場合は、「N1が」「N2は」を省略しょうりゃくすることがある。

### 【関連項目】

文-36 あとで  
文-40 とき  
活-03 V辞書形

### 【「れんしゅう編」の練習】

11-1 どんな順番？